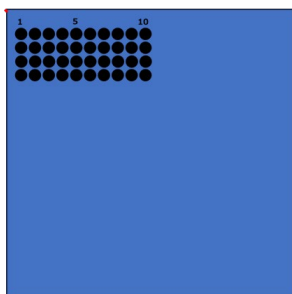
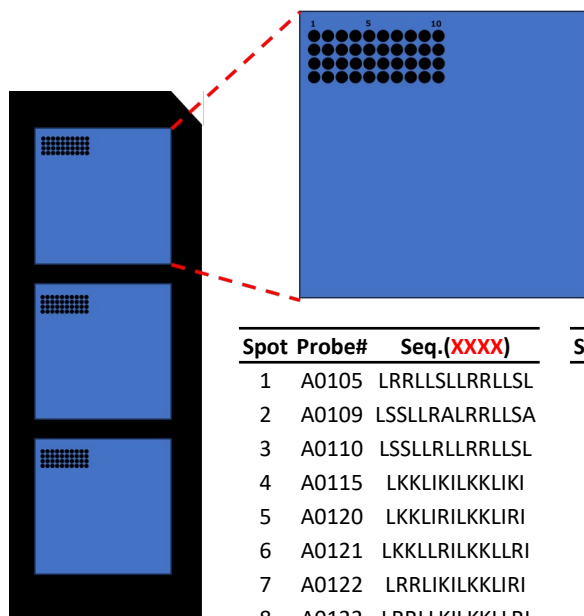


# 胃の前癌病変検査用チップ仕様書・取扱説明書

## P/N PTC-GCM-01 (Gastric Cancer Mebyo/未病)

搭載ペプチド	$\alpha$ -Helical ペプチド(Seq. $\alpha$ TAMRA-G-XXXX-GC-NH <sub>2</sub> ) 40種を固定化 (PAT.P)
基板	3ブロックデザインの表面マレimid化基板
固定化方式	基板表面ポリメチレンリンカーとマレimid基を介し、ペプチド側システイン残基のSH基との共有結合で固定化
スポット径	ca 160 $\mu$ m
ピッチ	ca 450 $\mu$ m
アレイ方式	マイクロアレイヤーによるスポットティングで1スポット当たり約 0.14 pmol のペプチドをアレイ化
保管方法	製品納品時に付属の専用のケースに入れ、遮光、4℃で保管



取り扱い動画参照



### アレイマップ (ロケーション) と 搭載ペプチドリスト

Spot	Probe#	Seq.(XXXX)
1	A0105	LRRLSLLRRLLSL
2	A0109	LSSLLRALRRLLSA
3	A0110	LSSLLRLLRRLLSL
4	A0115	LKKLIKIKKLIKI
5	A0120	LKKLIRILKLIIRI
6	A0121	LKKLLRILKLLRI
7	A0122	LRRLIKILKLIIRI
8	A0123	LRRLKILKLLRI
9	A0124	LRRLIKILRRLIKI
10	A0125	LRRLKILRRLIKI
11	A0126	LKKLIEIKKLIIEI
12	A0127	LKKLLEIKKLIIEI

Spot	Probe#	Seq.(XXXX)
13	A0129	LEELLKILKLLLEI
14	A0138	LKKLISILKLLISI
15	A0139	LKKLISILKLLISI
16	A0140	LSSLIKILKLLISI
17	A0141	LSSLKILKLLISI
18	A0144	LRRLIEILRRLIEI
19	A0157	LRRLSILRRLISI
20	A0165	LKKLFLKLLKLF
21	A0173	LKKLFLKLLKLF
22	A0185	LKKLEFLKLLLEF
23	A0213	LSSLKFLKLLLSF
24	A0254	LKKLVKLLKLVKV

Spot	Probe#	Seq.(XXXX)
25	A0255	LKKLLKVLKLLKLV
26	A0258	LKKLVRVLLKLLRV
27	A0259	LKKLLRVLLKLLRV
28	A0260	LRRLVKVLKLLRV
29	A0261	LRRLKVLKLLRV
30	A0265	LKKLEVLKLLLEV
31	A0267	LEELLKVLKLLLEV
32	A0269	LEELLKVEELLKV
33	A0272	LQQLVKVLKLLVQV
34	A0275	LQQLKVLKLLKLV
35	A0277	LKKLSVLKLLSV
36	A0279	LSSLKVLKLLSV
37	A0291	LQQLRVLKLLRVLQV
38	A0420	AKKAARVAKKAARV
39	A0457	ASSAVRVARAVSV
40	A0483	IKKFFSFIKKFFSF

### 基板使用手順書

- 事前準備**：環境の確保（基板を水平で、チリやホコリのない清潔な場所に置いてください。）  
I<sub>0</sub>データの取得：先にPBSを用いてI<sub>0</sub>データを取得してから、検体データの取得を行ってください。
- 検体の滴下と静置（3ブロック分）** ※1ブロックごとに、以下の手順①・②を順番に行ってください。
  - 検体の滴下** 1ブロックにつき **10  $\mu$ L** のPBS (I<sub>0</sub>)、または検体(I<sub>1</sub>)を正確に滴下します。
  - カバーガラスの設置** すぐにカバーガラスを静かにかけ、滴下した検体をブロック全体に均一に行き渡らせませす。
  - 残りブロックへの操作** 同様の操作（①・②）を、残り2つのブロックに対しても手早く行ってください。
- 反応（インキュベーション）および測定**
  - 密閉保管** 操作が完了した基板を速やかに「基板反応容器」に収め、キャップをしっかりと閉めて密閉します。
  - 静置（インキュベーション）** 室温・暗所にて、15～30分間放置します。
  - 蛍光測定** 静置後、基板を取り出し、蛍光検出装置を用いて測定を行います。

#### 正確な測定のための要素、注意点

- **気泡の混入防止**：カバーガラスをかける際は、気泡が入らないように端から静かに傾けるようにして載せてください。
- 気泡は蛍光検出時のノイズやシグナル欠損の原因となります。
- **乾燥注意**：検体を滴下してからカバーガラスをかけるまでの時間は、可能な限り短くしてください。
- **遮光の徹底**：反応中の「暗所」での保管は、蛍光物質の退色を防ぐために重要です。アルミホイルで容器を包む、あるいは遮光ボックス内での保管をおすすめします。

**関連製品**  
蛍光検出装置  
PepTenCam  
CP06J

**ご参考**  
**研究用検査チップシリーズ**  
① 歯周病簡易検査用  
チップ  
P/N PTC-PDS-01  
② 脳脊髄液検査用チップ  
(多発性硬化症ならびに  
関連疾患検査用)  
P/N PTC-NDS-01  
近日販売予定